

国葬反対

—国会と法律を軽視するな！—



ひろしま

郵政産業労働者
ユニオン広島支部
(広島郵便局内)

7月22日の閣議で政府は、故安倍晋三氏の「国葬」を今月27日に行うことを決定しましたが、多くの疑問と反対の声があがっています。

世論調査でも、「国葬反対」(47・3% 時事通信社)、国葬を行うことを「評価しない」(50% NHK)など、「反対」「評価しない」が多数を占めています。



現在、「国葬」の中止を求め署名が全国で取り組まれています。今回の「国葬」の何が問題かといえば、

①個人の葬儀を国が行う根拠法が存在しないこと。

②特定の個人の葬儀費用に税金を投じることが、法の下での平等、思想や良心・信教・表現の自由を定めた憲法に反すること。

③「モリカケ・サクラ疑惑」など行政の私物化や、国会軽視、官僚統制のあり方など、安倍氏の政治的な業績に対する評価は定まっていない。などです。

国会前では連日反対集会在開催され、先月31日には4000人が集まり、立憲民主党・

日本共産党・社民党の代表がそれぞれ反対のアピールを行うなど、多くの市民・団体が「国葬反対」、「国葬中止」の声をあげ、行動に立ちあがっています。旧統一教会と政治との癒着も相まって岸田内閣の支持率は低下し続けています。



岸田内閣の国会と法律を軽んじる姿勢を改めさせ、「国葬」を中止に追い込みましょう！

郵政ユニオン広島支部の組合事務室を獲得しよう！ 会社は組合事務室を貸与せよ！